

ここはドコ 私はだあれ

ここは今の幕別町。私はお寺の壇家の子どもたち。南町の善教寺は昨年、開基90年記念事業で対面所・讀水閣を建設。この落成記念として6月17日、町内で20数年ぶりという稚児行列を行いました。2歳から12歳までの70人が午前9時に役場前を出発して本町の商店街を通り、お寺までの1.5キロを歩きました。突然あらわれた、かわいい稚児行列に街の人達は大喜び。でも子どもたちは、いつもと違う自分の顔と格好に、ちょっと緊張気味でした。



6月1日現在
男10,581人
女11,165人

1990
7
No.462

計21,746人
(前月比+27人)
6,844世帯

まいわ 広報



育てたい...お母さんたちのホンネです

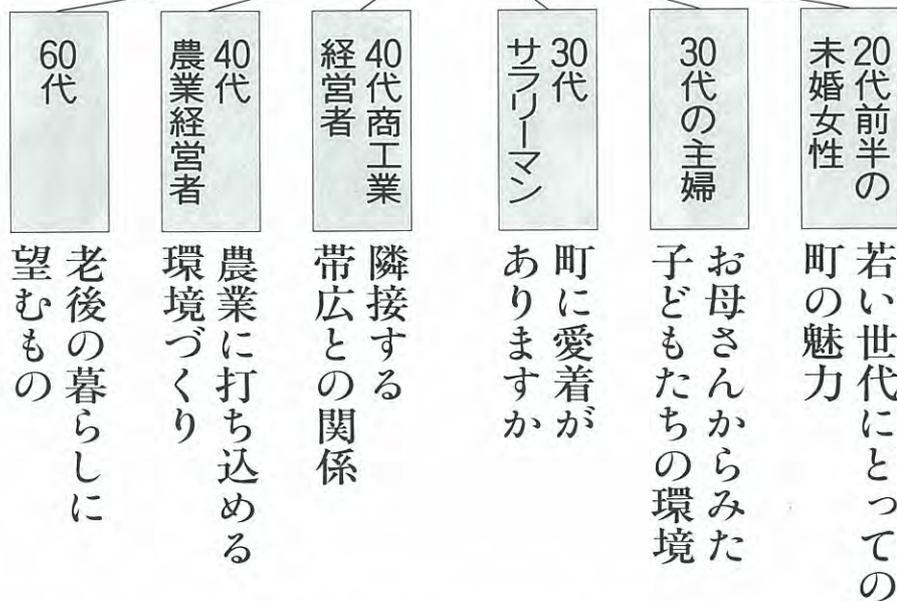
総合計画の素案作りのヒントにしました。

「あ・うんの呼吸」「目で物を言う」「これらは日本人の得意技と言われています。でも新しい総合計画を作る時にこの技を使うことはできません。なぜなら、みなさんが何を求めているかをはっきりつかまなければ、町づくりの新しい目標を定めることができないからです。今年三月、グループインタビューで町の人の生の声を聞きました。今月号でご紹介するのはほんの一部ですが、あなたの考えと重ね合わせてみて下さい。そのまま使えるアイデア、複数の意見を組み合わせる場合もあります。ご意見のすべてが町づくりのヒントです。

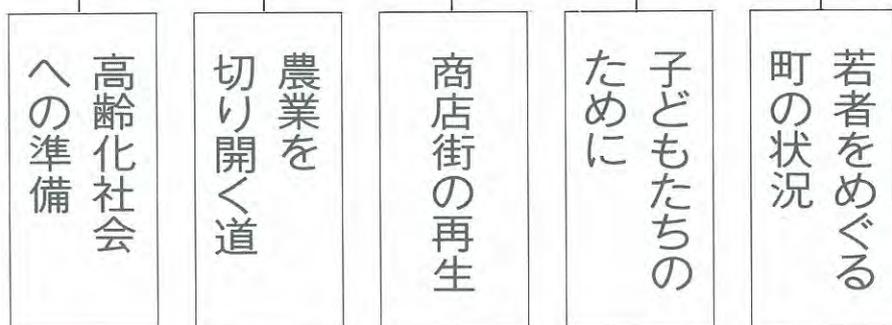
●グループインタビューとは

一グループ六、七人を対象にして、司会者が直接インタビューをする方法です。主に企業の商品開発や市場調査でよく使われます。町づくりについて、みなさんが何を望み、何を求めているかを調べることは、市場調査とよく似ています。生の声を新しい総合計画の素案作りのヒントにしようと、この方法をとりました。インタビューを進めていく中で、出席者の反応によって質問を臨機応変に変えていくことができます。そのため、意見の理由やその背景をくわしく確かめることができますし、出席者同士が互いの意見に刺激を受けて、新しいアイデアが出てくる可能性もあります。今回のグループインタビューは年齢別、職業別に六人ずつ、六グループにわけ、下のテーマを中心に行いました。

質問の項目



各世代から出された意見を下の5点にまとめました



子どもはのびのび

グループインタビューで20代から60代の生の声を聞き、

■子どもをめぐる環境

○小さい子が安心して遊べる公園づくりを○公園をデザイン優先から機能優先に○公共施設に使う側からの発想がほしい○身近で利用しやすい保育施設を○一時間単位であずかってくれる保育所がほしい○給食をもっとおいしく○学校は建物だけでなく中身にもお金をかけてほしい○町は教育にもっと配慮を○子どもの遊びに危険はつきもので安心して遊べる場所をとというのは無理○過保護を是正すべきだ

【まとめ】

のびのび个性的に育ててほしいと思いつながりながら、競争社会という現実の中で、ゆるる親の心理が見られます。女性は身近なことから教育や子どもをめぐる環境をとらえているようですが、共通していることは、子どもにもっと外の世界にふれさせてあげたいと願っている点。その対象として文化や情報のたくさんある都会や国際交流が上げられています。

●教育や子どもたちの環境に対する親からの要望

- ① 個性的な子どもに育てたい
- ② 地域性に根ざした教育を
- ③ 恵まれた自然を生かす
- ④ 外とのつながりで広い視野を

■学歴偏重の社会

○学力偏重の結果、町には頭デッカチしか残らない○塾通いは集団心理だ○ガリ勉タイプ以外には就職口が閉ざされている○町には就職口が少ないから子どもたちが出ていく○健康的に育てられた子どもこそ町に必要な人材だ

■おらかさの欠如

○子どもはのびのび育てたい○自然や生命の大切さを教えたい○自然に親しむ時間が子どもたちにない○自然に接しさせるのは親の責任○安全な場所ばかりでは危険に対応する能力が育たない○社会性が身につかない過保護は親の責任だ○安易に塾に行かせる親にも問題あり

■広い知識の欠如

○自分の殻、幕別の殻に閉じこもってほしくない○一度町の外に出てみて初めて幕別の良さがわかる○都会の子たちとの交流を○小学生の国際交流が必要

■個性や地域性を生かす

○自然と密着した学校を○マンモス校をつくらず分散させるべき○地域のことを教えないから地域のことがわからない○個性を大切に夢を持たせる教育を受けさせたい○幕別高校と地元とのつながりが薄い○個性を重視した就職採用を

●子どもたちのために

青葉保育所の運動会、子どもたちの大きな声援を受けてお父さんも母さんもおもいきり走った



イベントに来る若者が少ない

●若者をめぐる町の状況

■中高年層の元気がいい

○若者向きの場所がなく、町の施設やイベントはオジサンとオバサンばかり○人が集まるといつもカラオケとジギスカン○活気があり人が集まる町だが閉鎖的○幕別は古い体質で若者受けしない○パークゴルフで町の知名度は上がったが、やっている人のマナーが悪い

■シルバー世代には好意的

○元気な老人の姿を見るとホッとするとし、話をするのはイヤではない○老人も自分の好きなことをドンドンやればよい

■良い職場がない

○安心して勤められる職場がない○幕別には就職口がない○勤務場所は帯広を希望○職場に若い人がいない○一人暮らしをしたいが収入が少なく独立できない

■若者の影がうすい町

○若い男の人は町から出て行ってしまふ○町にいたのでは新しい出会いに期待できない○若者同士で夜遅くまで楽しめる場所がほしい○若者が少ないので意見も通らない○カラに閉じこもった幕別は若い人の意見も入れた方がいい

■憧れは帯広

○幕別の店には買いたいと思う商品がない○買いたい物はほとんど帯広です○目的はないが毎週帯広へ行く○若者が集まる帯広が好き○帯広は住むのに理想的な場所○結婚したら便利で親にも近い帯広に住みたい

【まとめ】

若者は幕別町にあまりよいイメージを持っていません。中高年の元気のよさばかりが目につき、いつも帯広との違いが気になり、帯広に憧れています。最大の不満は若者たちだけが集まって楽しめる場所がないこと。

●若者自身が考えた「若者にとって魅力ある町づくり」のポイント

- ① 若者の活性化
- ② 雇用機会の増大
- ③ 若者に合った住環境
- ④ 若者文化の創造
- ⑤ 都会空間の創造

■苦しい現状

○農業の労働生産性は上がっていない○農業が国民に理解されていないことが辛い○年中休みのないことが後継者不足の原因の一つ○嫁が来ないから後継者になりたがらない○希望より不安が大きく子どもに継がせることをためらう

■経営を苦しめた原因

○規模拡大により機械化のための費用が重荷○農作物の価格が抑えられている○売れる物があるとどこでも作り、一つの作物が持続しない○消費者の商品ニーズがわからない○農協が二つに分かれている○国の政策がはっきりしていないので、どうすればいいかわからない

●農業を切り開く道

農業は創造の喜びに満ちている



■農業経営者の思い

○農業に誇りを持ちたい○農業は創造の喜びに満ちていることを伝えたい○農業に対する女性のイメージを高めたい○後継者は始めほかの仕事をし、違う世界を見てから農業にもどってきてほしい

■農業を切り開く道

○消費者ニーズに合った作物づくり○立地条件を生かして野菜生産の発展が期待できる○農家個々の能力には限界があるので市場や販路を理解している人がほしい○二次加工品で輸入自由化に対抗○「十勝産」「幕別産」というような細分化が必要○分業化により労働負担を軽く○農業のよさ必要性を子どもたちにしっかり教える

【まとめ】

生産コストの増大などから、これ以上の規模拡大は個人の限界を超えるため、分業化を図る必要があると考えています。また農産物の市場や販路を理解している人材が必要だとする考え方も広がってきています。

●農業経営者が考える危機打開のポイント

①生産者と消費者の意思疎通②分業化による経営の効率化③二次加工など裾野の広がる農業振興④幕別産農産物のブランド化⑤たくましい後継者の育成

■高齢者が恐れるのは孤独

○愛される老人になろうと努力している○老後は家族と暮らすのが一番だ○老人と暮らすことは子供の情操教育に役立つ○同居のためには住宅に十分な広さが必要○将来の不安は体が動かなくなった時のこと○老人ホームの世話にはなりたくない

■家庭での介護

○介護をしていると買物どころか熟睡もできない○子供の減少や女性の社会進出で家庭介護は今後難しくなる○介護をする人にも何らかの配慮が必要

■地域とのかかわり

○老人同士、地域でのまとまりは強い○地域ごとの特性があり、地域間での交流は少ない○老人クラブの活動が活発な反面、孤独な老人も多い○車があるかないかで活動範囲が大きく違う

■「老人の粹」にはめないで

○若い人とのふれあいの場がほしい○老人はプライドが高い○老人とひとまとめにして呼ばれるのはイヤ○まだまだ勉強したいが施設やリーダーが足りない

【まとめ】

高齢者は家族との同居を望み、家族や地域の役に立ちたいと考えています。また、子供の減少や女性の社会進出によって、家庭で介護するのは今後難しくなっていくと予想され、家庭介護に公的な支援を求める意見が、どの世代からも出てきました。

●高齢化社会を迎えるための準備

①高齢者の学習意欲を満たす機会の拡充②在宅福祉サービスの充実③世代を超えた人とのつながり

●高齢化社会への準備

老人同士、地域でのまとまりは強い



商店はあるが商店街がない

●商店街の再生

■幕別の商店街の現状

○客のニーズに合った商品がなく選ぶ楽しみがない○顧客開拓の熱心さに欠け古くからの固定客だけで商売○買わない、鮮度落ち、品薄、客が来ないの悪循環○店を改装しても効果がなかなかあらわれない○経営不振でも生まれた町でガンバリたい○商店はあるが商店街がない

■魅力的な都市・帯広

○子どもを遊ばせておく所があるので帯広で買う○野菜は帯広の方が新鮮○帯広に幕別の商店は脅かされている

■札内は今や帯広の一部

○帯広の影響で深夜まで営業する店ができた○札内は幕別であって幕別でない○札内は年齢層が若く明るい雰囲気○二つの市街地を一つにつなげるのが商店主の願い○幕別と札内のまん中に施設をつくるのはどちらにも不便○幕別と札内は距離がありすぎてつなげるのは不可能

■38号線を生かす

○38号線は幕別の金の卵だ○札内駅周辺は磨けば光る○帯広に隣接しているから発展の可能性がある○帯広と幕別に同じ物があれば近い方を利用する○都市の魅力に勝つには便利さが必要

【まとめ】

商業に関する意見は6グループのいずれからも出され、関心の高さがあらわれました。地元商店街への厳しい評価は帯広との比較から生まれており、よほど思いきった対策をとらなければ消費の流失を引き戻すのは難しいといえますが、国道沿線の発展性には多くの人が注目をしています。消費者は近くで良い物が買えるにこしたことはないと考えています。

●商店街がよみがえるためのポイント

①食料品店の進歩から始めよ②38号線沿いを生かす③帯広隣接を逆手にとり消費の流入を④散在から集積へ（大型ショッピングセンター）

— お年寄りのホンネ —

若者とふれあう場がほしい



お父さん暑いよ、ジュース飲みたいよ。
もう少しガマンして、今いいところなんだ。

額に汗をにじませながら
演歌を熱唱する門脇陸男
さんと滝里美さん、2人
を見るお客さんも汗をな
がしながら拍手かつさい
の大声援です。

第6回芝桜まつり暑さもなんのその3,000人大集合

やっぱり演歌だべさ

「今からこんなに暑くてダイジョーブなの？」と思わずお日様に
聞いた6月10日、芝桜まつりに3,000人が大集合。
暑さにもマケズ思い思いの場所でプロやアマチュアの演歌を
聞きながら、真夏のような一日を過ごしました。

おとな三者三様

今日なんかどこにいても暑いよ。オレたちはビールがあれば十分、はかどるなあ。さあまたカンバイだ。



やっぱり暑い時は日カゲに入るのが一番。涼しい所でアツアツの肉を食べる。これです、これ。



暑くて日ガサのない時は、これにかざる。そうですタオルをかぶるのです。でも暑そうだなあー。



自慢の愛車を手にポーズ。みんなオレのが一番早いと思っていたけど、結果はどうだったのかな。今年も好評の全日本ミニ四駆大会には40人参加。



オープニングを飾ってくれた幕別バントワラズの子もたち。ちょっと振りが合っていないみたいだけど、ま、いーかあー。ごころうさまでした。



BMX北海道選手権大会に30人が出場。子どもとは思えないスピードとジャンプの高さ。迫力があってなかなかのもんでした。

子どもも三者三様



図書館の建設工事始まる
 図書館建設工事の安全祈願祭が十一日、新町の現地で行列、林町長や牛尾教育委員長、工事関係者など五十人が出席し、工事の安全を祈りました。十一月末に完成、来年四月には蔵書数三万五千冊でオープンします。

札内寮がスズランでいっぱい

中里小の子供たち14人が1日、学校の近くで朝採ったばかりのスズランを特養札内寮のお年寄りにプレゼントしました。約2時間かけて採った約1,000本のスズランを持って子供たちが各室を回り、一人ひとりに手渡し、札内寮の中はスズランでいっぱいになりました。



身障幕別分会が30周年
 北海道身体障害者福祉協会幕別町分会（会員六百人）の設立三十周年記念式が五月三十日、温泉駒屋で開かれ、会員など百人が出席。三十周年を祝いながら、会員同士の親ぶくを深めました。



足長おじさん幕小を訪問
 母校に八年間にわたって寄付を続けた高沢勝義さん（六十八歳・函館市在住）が二日、幕別小学校を訪問。初めて会う足長おじさんをお子供たちは器楽演奏や全員の歌声で歓迎しました。

熱戦6時間、町長杯ゲートボール大会

町長杯ゲートボール大会が12日、運動公園ゲートボールコートで行われ33チーム、240人が参加。3、4チームで予戦リーグを行い、各リーグ1位の9チームが決勝トーナメントに進んで、6時間におよぶ熱戦の結果、札内小松チームがこの大会二連覇を飾りました。



低農薬野菜をどうぞ
 低農薬、有機肥料で作った野菜の即売所「トマトハウス」が八日、国道38号線沿いのいつもの所（相川）にオープンしました。毎日、朝もぎの野菜が並べられ、七月の旬はトマトや大根、キャベツです。

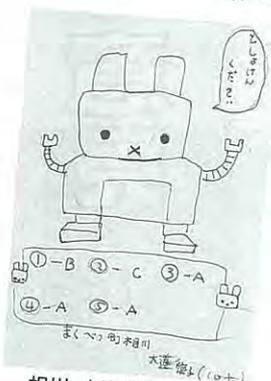


町民文芸誌第六号発行
 町民文芸誌「まくべつ」第六号が町文化協会から発行されました。一三八ページに短歌やエッセイなど約百二十作品が載っています。一冊五百円、教育委員会まで。この次はあなたも応募してみませんか。

お宝クイズ



緑町 武田博秀 16歳



広報クイズ— (40)

500円の図書券が当たる

おーいみんな、天気の良い日は帽子をかぶるんだよ。ポーとした頭じゃクイズはとけないよ。

- ① お寺の壇家の子どもたちがした行列は
A 大名行列 B 稚児行列 C 仮装行列
- ② グループインタビュー30代主婦のテーマ
A 老後の暮らしに望むもの B 町に愛着がありますか C お母さんからみた子どもたちの環境
- ③ 芝桜まつりのオープニングを飾ったのは
A 幕別バトントワーズ B 全日本ミニ四駆大会 C B M X 北海道選手権大会
- ④ 中里小の子供たちが届けたお花は
A すぎらん B タンポポ C チューリップ
- ⑤ パークゴルフの公認指導員認定会に参加した小杉町は何県
A 青森県 B 富山県 C 大分県

【応募方法】

★はがきに答えの記号(例①-A)、住所、氏名、年齢と、ご意見ご要望、広報を読んで一言などを書き添えて下さい。
全問正解の人の中から抽選で5人に500円の図書券をプレゼントします。応募は1人1通に限ります。ご意見などのほか、イラスト、漫画、詩、コントなども大歓迎です。イラストや漫画は黒色で濃く書いて下さいね。

★あて先=☎089-06

幕別町本町130 役場・広報広聴

★締め切り=毎月15日

★前回の正解は、①-B、②-A、③-A、④-A、⑤-Bでした。応募36通で全問正解が32通。抽選で次の5人が当選しました。(敬称略)

入谷敬子 (13・若草町) 上田めぐみ (12・桂町) 佐藤洋介 (11・あかしゃ町) 萩野恵子 (12・古舞) 坂口絵莉 (5・旭町)

六

月三日は札中の運動会だったんや！私赤組！応援の部で赤が優勝したんだぞ！じゃんじやないけど私赤組やって9年間になるんですよ！最後に小説から図書券くれー！↓若草町・入谷敬子(一三)

♣：六月は運動会シーズンでした。みんなもガンバッタけど、お父さんやお母さんもガンバッていたね。そうですか、敬子。は9年間ずーと赤組なんですか。クイズも9年間出し続けられぱきと当たるだろうと思っていたら、やりました今月、おめでと。

書券すつこくほしいよお。

早くちょうだい!! ↓大山紘子(九)

♣：おおい紘子。何考えてるんだよ。五番の答えがないじゃないかあー。

ほんの一言

☺：図書券あたれ、あたれ ↓新北町・高橋香奈子(九)、麻衣子(二)、礼子(三)、一造(四)

♣：家族総出での応募ありがとうございます。残念ながらもみんなハズレです。またこの次にご期待!



こちら編集室です

五月の日曜日、おじさんたち三人で猿別川上流(糠内)からカヌーに乗りました。(カヌーをこいでヘトヘト)でも川は楽しい!(堂前)私の体には太陽電池が入っています。五月六月に野球をしながら、お天道様の光をいっぱいあびてエネルギーを充電、冬でもパワーが出ます。ところで野球少年団の諸君、勝つ方法を教えておくれ森

「寄付ありがとうございました」

■社会福祉協議会へ

- ▽石田きささん(依田)から二万円
- ▽小野寺智恵子さん(旭町)から三十万円
- ▽幕別町ライオンズクラブから三万円

■老人クラブへ

- ▽石田きささん(依田)から二万円
- ▽土田一郎さん(西和)から二万円

聞かせてください あなたの意見

ゴミについて



個人で持ち込まれても買います 公区で回収する時、電話下さい

再生資源の回収業を始めてもう35年です。札内で7年になります。私のところで引き取れる物は紙やダンボールなどの紙類とアルミ缶などの金属類が主で、その反対はテレビなどの電化製品、牛乳の紙パック、ビンの中にも引き取れない物があります。新聞10^冊でだいたい100円です。個人で持ち込まれても買いますし、公区で廃品回収をする時も電話をいただければ、おうかがいします。
共栄町（岩野商事社長）岩野 茂康



天プラ油で石ケンができる 婦人部の会合などで教えてあげます

使った天プラ油も投げればゴミになりますね。でもこれで汚れ落ちがよくて、手の荒れない石ケンが作れるんですよ。特にくつ下や軍手などの汚れのひどいところにききますね。使い方はカンタンです。油2升到カセイソーダ500ccを入れて1時間ほどかきまぜ、あとは固まるのを待つだけ。公区の婦人部の会合などに呼んでいただければ、都合のつくかぎり行って教えてあげますよ。
途別（食生活改善協議会会長・☎56-5403）白木 艶子

八月号もゴミ
八月号もゴミをテーマにします。今までに十人のみなさんのご意見を紹介しましたが、「私はこんなことを考えているよ」という方はいらっしゃいませんか。あなたの意見を広報広聴係に聞かせて下さい。電話番号も忘れずに。

資源や物を大切にしましょう 青空バザールに協力して下さい

資源や物を大切に最後まで使おうと、毎年「青空バザール」を開いています。もう10年ぐらい続けていますが、年々訪れる人も出していただける人も多くなり、好評です。今年は9月9日に町民会館で開くことになりました。時期が近くなれば町のおしらせで呼びかけることにしています。みなさんの家でねむっている贈答品や子供服などがありましたらご協力下さい。
南町（幕別町消費者協会副会長）森野 幸子



コミュニティ
スポーツ

幕別町で生まれた パルクゴルフ

その結果、アドバイザー二十人と指導員百十五人が新たに認定されました。

青葉町第一公区が
念願の初優勝

公認指導員に115人 富山県小杉町も参加

パークゴルフの普及を図るための指導者を養成する指導員、アドバイザーの認定会が八日、国際パークゴルフ協会（福田省市会長）の主催により、町民会館とサーモン、つつじの両コースで行われました。

参加者はパークゴルフでスポーツ交流を深めている富山県小杉町の体育指導員など九人を始め、百三十五人。午前中は町民会館で、同協会札幌支部長の平塚治郎さんなどからルールやマナーの説明を受け、午後からはサーモン、つつじの両コースで指導員の指導を受けながら実技研修を行いました。

公区対抗が六月二十四日、つつじ、サーモンの両コースで行われ、男子は青葉町第一公区が四打差で念願の初優勝。女子は三十打差をつけて錦町第一公区Bが二連覇を達成しました。

公区対抗の結果

- ▽男子優勝・青葉町第一公区（446）準優勝・錦町第一公区B（470）一位・新北町公区（478）
- ▽女子優勝・錦町第一公区B（463）準優勝・中央町第三公区（493）一位・錦町第一公区（495）



サーモンコースでプレーをする富山県小杉町のみなさん

公区対抗優勝チーム
前列 錦町第1公区B 後列 青葉町第1公区

